

第3学年 国語科学習指導案

日 時 平成26年10月10日(金) 6校時
場 所 3年1組 教室
児 童 3年1組 男19名 女13名 計32名
指導者 千葉 恵 悦

1 単元名 かるたについて知ろう(読むこと) 学習材名 「かるた」(光村図書3年下)

2 単元について

(1)児童について

児童は、「イルカのねむり方／ありの行列」において、一つの段落には、ひとまとまりの内容が書かれていることを学び、『はじめ・中・終わり』の大きなまとまりの中で、段落相互の関係や問いと答えの関係を考え文章を読む学習を行った。また、「すがたをかえる大豆」においては、くり返し出てくる言葉や、問い・題名とつながりのある言葉などに注目しながら、段落の要点をまとめ、段落相互の関係や文章構成をとらえる学習を行った。

しかし、文章に書かれてある情報が多くなるにつれて、書いてある内容を断片的にしか読み取れていないため、指示語の指し示す内容が十分に理解できなかつたり、具体的に例示されてあることは見付けやすいが、やや抽象的な説明になると、要点をとらえたりすることができない児童もいる。

(2)学習材について

「かるた」は、児童の身近な題材を扱った説明文である。かるたの誕生とその種類について述べ、「先人のちえが つまった、大きなおくり物でもある。」という筆者の考えが書かれてある。

文章は、「はじめ・中・終わり」で構成されている。「はじめ」で一般的なかるたを紹介し、「中」では「いろはかるた」や「百人一首」の事例をあげ、「かるた」の誕生の歴史を説明している。「終わり」では、対比的な述べ方を用いて「かるた」に込められた先人の知恵を強調している。「中」の意味段落では、「終わり」の「大きなおくり物」と「中」との関係や、「貝おおい」の事例など今まで学習してきたような単純な時系列や羅列にとどまらない。このような説明的文章を読むためには、各段落の内容を読み、つながりを読む必要がある。その一つの方法として、中心となる語や文に着目して、小見出しを付けて、内容を整理することとした。この「かるた」の学習は、小見出しを並べることで文章全体が俯瞰できることを知るのに適した学習材であろうと考える。

(3)指導にあたって

本単元では、目的に応じて中心となる語や文に注目して、内容を整理する学習を行う。そのために、中心文を見付け短くまとめたり、小見出しを考えたりしながらカルタを作るという言語活動を設定する。

第1次では、初発の感想やかるたの種類への興味・疑問から学習課題を設定する。「3年1組国語かるたを作る。」というゴールを明示し、学習の見通しをもたせる。

第2次では、既習を生かして、本文中のキーワードや中心文の中から小見出しを考えさせる。まず、かるたの種類についてまとめ、小見出しを付けてまとめる方法を学習させる。次に、筆者が強調している「先人のちえが つまった、大きなおくり物」にふれ、関係のありそうな文や言葉に着目させ、短くまとめさせたい。

第3次では、教科書でこれまで学習したことを材料に「かるた」作りを行う。また、この単元をきっかけに、ことわざや百人一首などに親しませるとともに、総合的な学習の時間と関連させ、「岩谷堂かるた」の作成に取り組みさせたい。

3 単元の指導目標と評価規準

観 点	目 標	評 価 規 準
国語への 関心・意欲・態度	段落の中心となる語や文をとらえ、小見出しをつけたり、かるたを作ろうとしたりしている。	3年生の教科書から文章を選び、段落の中心となる語や文をとらえ、かるたを作ろうとしている。
読む能力	段落の中心となる語や文をとらえ、小見出しを付けることができる。(1)イ	段落の中心となる語や文をとらえ、まとまりの内容を短い言葉で言い換えたり、大切な言葉を用いたりして小見出しを付けている。
言語についての 知識・理解・技能	指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解することができる。(1)イ(ク)	指示語や接続語は、文相互の関係、段落相互の関係を端的に示す手がかりになることを理解している。

4 単元の「学びのプロセス」の構想（全8時間）

【指導過程】

第1次（2時間）
生活経験を振り返り、かるたに関心をもつ。
単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。
【関心・意欲・態度】

第2次（3時間）
「かるた」を読み、段落ごとに、中心となる言葉や文に注目して、小見出しを付け、内容を整理する。
【言語についての知識・理解・技能】

第3次（2時間）
これまで学習したことから教材を選び、小見出しを付けてまとめ、3年1組国語かるたを作る。
七五調やリズム感のよい短文に表しながら、かるたを作る。
【読む能力】

第4次（1時間）
単元で身に付けたことばの力を振り返り、学習をまとめる。
ことわざに親しみ、意味を辞書や本を用いて調べたり、使ったりする。【関心・意欲・態度】

【問題解決の流れ】と【主な学習活動】

【主な学習活動】
①・かるた遊びをする。
・「かるた」を読み、学習課題を設定する。
②・「3年1組国語かるた」を作るというゴールを明示し、単元の学習の見通しをもつ。

かるたについて知ろう。
①・どんなかるたがあるのか知ろう。
②・「先人のちえがつまった大きなおくりもの」について知ろう。

【主な学習活動】
②・全文を大きなまとまりに分ける。
③・1段落の大事な語や文を書き出し、小見出しをつける。
⑤・2～4段落の大事な語や文を書き出し、小見出しをつける。【本時】
⑥・5～6段落の大事な語や文を書き出し、小見出しをつける。
・「大きなおくり物」の意味にふれる。

3年1組国語かるたを作ろう。
①□3年生の教科書から選んで、かるたを作ろう。

【主な学習活動】
⑦・3年生の教科書から好きな文を選び、小見出しをもとに、かるたの読み札を作る。

自分で作ったかるたを紹介し合おう。
ことわざや短歌、かるたについてこれからもいろいろ知ろう。

【主な学習活動】
⑧・自分で作ったかるたを紹介し合う。
・小見出しを付けると、書かれてあることを分かりやすくまとめることができることを振り返る。
・ことわざや百人一首に親しんだり、「岩谷堂かるた」を作ろうとしたりする意欲をもつ。

◆大事な語や文を選び、小見出しを付ける。

5 本時の指導（5／8）

(1) 目標

- 「かるた」を読み、中心文をもとに短くまとめ、小見出しにすることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	学習内容	教師の支援と評価
つかむ 5分	1 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">課題 かるたのとくちょうを短くまとめ、小見出しを作ろう。(2～4段落)</div>		★手立て2 (対話) 手立て3 (「課題設定」と「評価活動」) ★1 段落の話題提示を振り返る。
学び合う ふかめる	2 学習課題を解決する。 (1) 第2段落を解決する。 ・題名に使われている言葉や繰り返し出てくる言葉をもとに大事な言葉を見つける。 ・接続語や文末に着目させ段落の中心文を見つける。 ・短くまとめ、小見出しを作る。 ・ワークシートにまとめる。 ◆個人・グループ・全体 (2) 第3・第4段落の小見出しをつける。 ◆個人・グループ・全体	○小見出し ○接続語・指示語。	小見出しの作り方を確認する。 ・段落の中の中心文、大事な言葉を見つける。 ・大事な言葉を用いる。 ・別の言葉で言い換える。 ・言葉をつけたす。 ・20字程度で表す。 ★サイドラインを引いてから、ワークシートに書くように支援をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(評価) 第2段落から第4段落を読み、短くまとめることができる。 【読むこと】 (評価方法) 観察・ワークシート</div>
3 3分	3 ジャンプの課題に挑戦する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">課題 「イルカのねむり方」を短くまとめ、小見出しを作ろう。</div> (1) 同じ段落で小見出しを作る。 ・違う段落でも作ってみる。		★ジャンプの課題では、「イルカのねむり方」を用い、既習の学習事項を生かし、小見出しを作る。
ひろげる 7分	5. 学習をふり返る。 (1) 学習してわかったことや自分や友達ががんばったことを振り返る。 (2) 次時の学習を知る。		★小見出しをつけると分かりやすいことや整理しやすいことを振り返らせる。

(3) 板書

かるたの種類について、小見出しを使って短くまとめよう。	小見出しのつけ方	・大事な文（中心文）や言葉を見つける。 《方法》	大事な文や言葉	小見出し	第二段落	第三段落	第四段落	ジャンプの課題 「イルカのねむり方」に小見出しをつけよう。
-----------------------------	----------	-----------------------------	---------	------	------	------	------	----------------------------------

かるた

江橋 崇

(4) 座席表

黒板

⑦		⑤		③		①	
⑧		⑥		④		②	

